

よんで「たえよう」

(1) どうぶつの赤ちゃんは、生まれただけのときは、どんなようすをしているのでしょうか。そして、どのようにして、大きくなっていくのでしょうか。

ライオンの赤ちゃんは、生まれたときは、子ねこぐらいの大きさです。目や耳は、とじたままです。ライオンは、どうぶつの王さまといわれます。けれども、赤ちゃんは、よわわしくて、おかあさんにあまりにいていません。

ライオンの赤ちゃんは、じぶんではあるくことができません。よそへいくときは、おかあさんに、口にくわえてはこんでもらうのです。

ライオンの赤ちゃんは、生まれて二か月ぐらいは、おちちだけのんでいます。ですが、やがて、おかあさんのとったえものをたべはじめます。一年ぐらいたつと、おかあさんやなかまがするのを見て、えものとりかたをおぼえます。そして、じぶんでつかまえてたべるようになります。

① あなたのなまえをきれいにかきましよう。

② (1)には、二つのもんだいがかいてあります。みつけて、かきうつしましょう。

○ひとつめのもんだい

○ふたつめのもんだい

③ ライオンの赤ちゃんの、生まれたときのようすについて、こたえましよう。

○大きさは、どのぐらいですか。

○目や耳は、どうなっていますか。

○おかあさんに、にいていますか。

④ ライオンの赤ちゃんはじぶんであるけますか。

⑤ よそへいくときは、だれにはこんでもらいますか。

⑥ ライオンのあかちゃんが、おちちだけのんでいるのは、どのぐらいのあいだですか。

⑧ 一年くらいたつと、おかあさんや、なかまがするのを見て、なにをおぼえますか。